

ビーライン、タイヤ小売チェーン初の「昼休み閉店」を導入 社員の健康と作業品質を優先

九州を中心にタイヤ小売チェーンを展開する株式会社ビーライン(本社:宮崎県宮崎市)は12月1日、正午から午後1時の間は完全に営業を中断して店舗従業員の休憩時間に充てる「昼休み閉店」を導入します。対象は直営全店で、宮崎県内の全店舗、熊本県内の全店舗、福岡県、山口県内のフランチャイズ店を除く直営店の合計29店舗です。「昼休み閉店」の導入は、従業員の労働環境を改善すると同時に、年末など繁忙期に起こりがちな長時間の連続勤務をなくすことで、「100%の作業品質を120%に引き上げてお客様に提供すること」を目的としております。

ビーラインは「お客様に安全・安心をご提供する」というコーポレートスローガンを掲げています。店を閉めずに従業員が交代で休憩することも可能ですが、休憩せずに作業する従業員には負担となり、作業品質の低下を招きかねません。コーポレートスローガンの達成には「昼休み閉店」の直営全店導入が不可欠と考え、実施することにしました。職場環境の改善はESG(環境、社会、ガバナンス)の観点からも重要な取り組みであると考えております。

